

## 例年と趣を異にした運動会の中で

今年度の運動会は例年のそれとは少し違った趣となりました。華やかな音楽なし、声援なし、参観者も制限し、種目も減らしました。グラウンド全体が静寂に包まれ、その中で出番を待つ児童の姿に感動しました。どの学年の児童も整然と整列し、児童一人一人がこれから始まる競技に対して、集中力を高め「やってやるぞ」という静かな闘志が会場に広がりました。

校長は閉会式の講評の中で6年生の頑張りについて話をしました。「最高学年の6年生が全校児童の中心になり運動会を創り上げてくれた」と・・・短い時間の中で応援コールを考え、何度も練習し下級生にも指導していました。休み時間を利用し、グラウンドでリレーのバトン渡しの練習を繰り返していました。そんな姿を見て、下級生は6年生の指導を素直に受け、楽しそうにそして、精一杯の力を出して応援コールの練習をしていました。本番では、6年生の競技中、下級生が送る応援コールが校内からも聞こえてきました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、児童はさまざまな制限の中で学校生活を送ってきました。そんな中での運動会でした。今年度は例年の運動会では見えなかった本校児童のすばらしさを実感させられました。静寂の中にも児童の躍動の場が随所にあり、すてきな運動会となりました。今までとは違った充実感をしみじみと味わうことができました。

最後になりますが、平日にもかかわらず、たくさんの保護者の方々に来校いただき、子供たちに温かい眼差しを送っていただきました。さらに、PTA執行部の方々には、進んで駐車場の案内や受付の仕事、デコマスクの掲示等に携わっていただき、運動会を陰で支えていただきました。誠に有難うございました。



運動会に全力を出し切った6年生